

あくたれラルフのクリスマス



ジャック・ガントス／さく
ニコール・ルーベル／え
こみやゆう／やく
PHP研究所
EW/ア

ていがくねんむ
低学年向け

ねこのラルフは、いたずらばかりしてかいぬしのセイラをこまらせてばかり。でも、それはセイラのこと大好きで、セイラにかまってほしい気持ちのあらわれです。こんな気持ちはだれにでもあるのではないかと思います。ラルフのいたずらのあくたれぶりを笑ったり、セイラとのなかなおりにほっこりしたり。そんな、かわいらしいあくたれねこラルフシリーズのクリスマスのお話です。

おかわりへの道



山本悦子／作
下平けいすけ／絵
PHP研究所
913/ヤE/

かすみは担任のりょうた先生が給食のあまったごはんを握るおにぎりを食べてみたくてたまりません。食べられるのは給食を食べきた子だけ。3学期の最後の給食までにおにぎりを食べるため、作戦を実行するかすみ。「しかもふりかけもかかっていない」シンプルなおにぎりがとてもおいしそう。食べてみたい！と思うかすみの気持ちがヒシヒシと伝わってきます。

クリスマスがちかづく

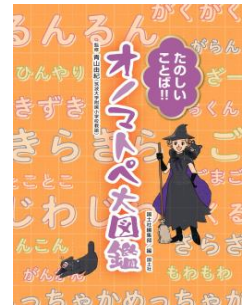


斉藤倫／作
くりはらたかし／画
福音館書店
913/サリ

ちゅうがくねんむ
中学年向け

主人公のセロはクリスマスがきらいでした。クリスマスはいつもお父さんもお母さんもおしごとです。さみしいクリスマスなのです。でも、お父さんがクリスマスにするにはりゆうがあったのです。そのりゆうとは—？クリスマスをめぐるセロの一家のできごと、クリスマスがきらいだったセロの気持ちの変化、友だちとのかわり。クリスマスの夜におきた夢のような不思議なできごとで心が温まる一冊です。

たのしいことば！！ オノマトペ大図鑑



青山由紀／監修
国土社編集部／編
国土社
814

「ぎーぎー」「わくわく」「ふわふわ」といった、人やもののおとや様子を表す言葉「オノマトペ」。日本語には英語や中国語の約3～5倍もあると言われています。この本では、写真やイラストにぴったりなオノマトペを選ぶクイズや、「ぎゅーぎゅー」「びっしり」など似た意味を表すオノマトペの使い分け方を楽しく学ぶことができます。まだ知らないオノマトペにも出会えるかもしれません。

あきらめなかった男

おとこ
だいこくやこうだゆう ひょうりゆき
大黒屋光太夫の漂流記

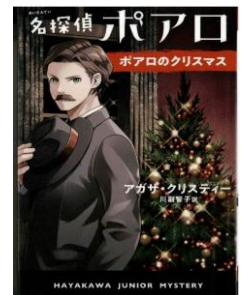


小前亮／作
おとないちあき／絵
静山社
913/コリ

こうがくねんむ
高学年向け

日本が鎖国をしていた江戸時代、海で遭難し、北の孤島に漂着した船乗りたちのサバイバル冒険譚。伊勢の国(今の三重県)の大黒屋光太夫という実在の人物のほんとうにあったお話です。言葉もわからない土地でどのように生き延びたのか。光太夫たちの、なにがあってもあきらめない姿に心を打たれ、彼らが無事日本に帰れるのかどうか、お話の先が気になる歴史アドベンチャーです。

名探偵ポアロ ポアロのクリスマス



アガサ・クリスティー／著
川副智子／訳
早川書房
933/クア

クリスマス・イヴの夜、大富豪シメオンの館に集められた子どもたち。跡継ぎとして父親を崇拜してきた長男、放蕩歴のある問題児の次男、長い間絶縁状態にあった芸術家の三男とその妻たち。執事や世話係、旧知の知人の子など、思いがけない来訪者にも囲まれ、にぎやかなクリスマスを過ごす予定だったシメオンは誰に、どうやって殺されたのか。ポアロが密室殺人に挑みます。

※紹介した本の表紙画像の使用許可取得済み